

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	605 住宅政策事業					
予算科目	01-080502-11 住宅政策に要する経費			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	茨城県住生活基本計画、つくば市市営住宅長寿命化計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	住生活基本法、公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	「住生活基本計画（全国計画）」に基づき市民の住生活の質の向上や住宅セーフティネットの確保を図る。
概要 (取組内容)	住宅セーフティネットの拡大のため、市営住宅以外の選択肢として民間賃貸住宅の活用（情報提供）を促進する。 市内における住生活の質の向上を図るため、つくば市マンション連絡会への支援を行う。 市内の住宅ストックの居住環境の向上及び地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム補助金の交付を行う。 サービス付き高齢者向け住宅の、施設基準の審査及び検査

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	6,259	5,353	10,117	10,167	10,140	
	決算額	(千円)	5,638	4,707	9,745	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,216	2,619	6,443	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,422	2,088	3,302	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,122	4,164	8,924	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	1.30	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	17.00	26.00	29.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	ホームページ及び広報つくばによる情報発信
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	民間賃貸住宅情報提供件数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	7.0	4.0	17.0	3.0	0.0	0.0
指標の概要	市内における安定した居住確保のため、市営住宅の待機者をはじめとした住宅確保要配慮者に対し、低額な民間賃貸住宅の情報を提供する。					

2	指標名	つくば市安心住宅リフォーム補助金の交付件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	58.0	50.0	104.0	0.0	0.0
	指標の概要	住宅ストックの居住環境の改善の実績値として、補助金の交付が決定した件数。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	年間を通して、茨城県居住支援協会を通じた情報共有及び住宅確保要配慮者への案内を行った。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 住宅リフォーム助成事業について、104件の助成金の交付を行った。 住宅確保要配慮者に対して、福祉部門を通じた相談が増え、個別状況に応じた情報提供を行った。 住宅確保要配慮者の対応について、居住支援法人意見交換会で支援法人の活動内容等の情報共有を行った。 	
課題	業務	・マンション管理適正化法の改正に伴い、市の管理適正化計画の策定の検討が必要である。
	組織、予算等	・マンション管理適正化計画及び計画の認定については、対応する組織の検討が必要である。 ・住宅確保用配慮者に対し、福祉部門を通じた対応が増えているため、連携方法の検討が必要である。
改善目標	住宅確保要配慮者に対して福祉部等との連携を強化し、セーフティセット登録住宅等の案内を行うとともに、セーフティネット住宅拡大に向け、支援法人や県居住支援協会と連携をした検討を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	606 市営住宅維持管理事業					
予算科目	01-080501-11 住宅維持管理に要する経費			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市市営住宅長寿命化計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市営住宅入居者
目的	市営住宅入居者の良好な居住環境の維持を図る。
概要 (取組内容)	定期的な住宅及び付帯施設の保守点検管理業務、環境維持管理業務、生活支障箇所の修繕及び入居時における住宅修繕

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	99,635	99,053	105,191	105,954	107,875	
	決算額	(千円)	98,715	89,095	96,133	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	98,715	89,095	96,133	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,366	6,404	6,403	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	0.90	0.90	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	104.00	112.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	・政策空家等について、敷地内の共用スペースの一部に防草シート設置工事を行い、空き室が増え高齢化が進む自治会の負担軽減を図った。(2団地)	
成果	・維持管理委託 25件 ・住宅修繕 247件 ・修繕工事 17件 ・残置物処理委託 4件 ・定期点検 3団地(駒形団地、ひがし谷田川団地、金田住宅)	
課題	業務	施設の老朽化に伴い、部品等の製造終了等による対応困難事例も発生し修繕方法に苦慮するケースが増えている。
	組織、予算等	団地内の浄化設備等の日常点検を入居者の自治会で実施している政策空き家団地があるが、入居者の減少により費用捻出が難しいとの相談があり、今後市で実施するための予算を確保する必要がある。
改善目標	施設の老朽化に伴い、必要となる修繕工事について、設置年や耐用年数等の情報を整理し、工事の洗い出しを行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	607 市営住宅入退去管理事務					
予算科目	01-080501-11 住宅維持管理に要する経費			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市営住宅入居希望者、市営住宅入居者及び退去者					
目的	住宅に困窮する者に対して低廉な家賃で市営住宅を提供し、収入に応じた家賃の徴収を行い市の財源を確保する。					
概要 (取組内容)	入居募集に伴う事務 入居者からの申請に基づく同居等の承認事務 退去に伴う事務 法及び条例に基づく家賃の決定及び徴収事務並びに家賃滞納者への徴収事務					

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	16,003	16,645	15,653	15,652	17,514	
	決算額	(千円)	15,919	16,223	15,555	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	15,919	16,223	15,555	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,945	6,985	6,974	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	59.00	62.00	67.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	市営住宅の新規入居数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	22.0	16.0	21.0	23.0	0.0	0.0
指標の概要	住宅困窮者に対し住宅を提供したことの指標として新規入居数を設定する。						

2	指標名	市営住宅の退去数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	54.0	38.0	28.0	26.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・無断退去住宅の残置物処理について、一部の住宅で残置物の処理を実施した。 ・ 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入居戸数 23戸、退去戸数 26戸 ・単身入居可能な住戸の募集戸数11戸（うち単身入居4戸） ・収入が減少した入居者からの相談に対し、減免措置及び福祉部門での相談等を案内した。 	
課題	業務	・単身での入居希望者が多いが、単身入居可能な住戸数が少なく、基準の見直し等検討が必要である。
	組織、予算等	業務の一部を茨城県住宅管理センターに委託している。
改善目標	入居者が選択できるよう、協定を締結できる債務保証会社を増やす検討をする。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	613 市営住宅長寿命化計画実施事務					
予算科目	01-080502-11 住宅政策に要する経費			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	茨城県住生活基本計画、つくば市市営住宅長寿命化計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	住生活基本法、公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	長寿命化計画に定められた計画を実施し、市営住宅の維持管理や統廃合等の更新コストの縮減を図るとともに、住宅ストックである、市営住宅の住生活の質の向上を図る。
概要 (取組内容)	社会資本整備総合交付金（社総交）を活用し、長寿命化計画に位置付けられた市営住宅改修設計及び工事社総交の要望及び交付金受領に係る申請事務 市営住宅の用途廃止に伴う事務

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	161,007	385,573	315,270	234,103	319,472	
	決算額	(千円)	160,125	343,945	303,754	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	20,361	38,749	179,107	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	139,764	305,196	124,647	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,772	5,611	6,293	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.80	0.90	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	21.00	59.00	67.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	改修等の実施件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5.0	7.0	8.0	7.0	0.0	0.0
指標の概要	個別施策の指標である『施設類型別の「個別施策計画」の策定及び着実な取組』のため、事務事業の指標として、改修等の実施件数を設定する。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> つくば市市営住宅長寿命化計画において本年度予定していた工事及び設計業務はすべて実施した。また屋根・外壁の劣化が著しく、早急に工事を行う必要があるひがし谷田川団地5号棟については、補正予算を計上し繰り越し事業として工事に着手することができた。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 市営ひがし谷田川団地浴室改修工事（5号棟）、大砂住宅浴室改修工事、ひがし谷田川団地屋根・外壁改修工事（3～5号棟）、駒形団地排水管改修工事（1～2号棟） ひがし谷田川団地排水管改修設計、金田住宅浴室改修設計、小沢団地解体工事設計 	
課題	業務	改修工事については、事前に調査の上実施しているが、居住者がいることにより居室内の調査は不十分となりやすく、居住状況によって個別慎重な対応が必要になる。
	組織、予算等	国庫補助金を活用した改修工事等については、補助金の交付率が低い場合、工事実施時期等を再度検討する必要がある。
改善目標	引き続き国庫補助金を要望しながら、長寿命化計画に基づき改修工事等を実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	609 空き家等の適正管理及び有効活用事業					
予算科目	01-030112-12 空き家対策に要する経費			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約	87			係名	空き家対策係	
戦略プラン	I-2	5	1	「つくば市空家バンク制度」の推進	新規・継続	継続
	I-2	5	2	空き家活用に関する啓発と空き家跡地（空	事業分類	自治事務（義務）
個別計画	つくば市空家等対策計画				事業体制	職員のみ
	空家等対策の推進に関する特別措置法、つくば市空き家等適正管理条例				事業期間	毎年度
根拠法令等						

事業の概要

対象	空家等の所有者等
目的	空家等の適正管理と有効活用の促進を図り、市民の安全で安心な生活環境を守る。
概要 (取組内容)	市民からの情報提供（相談）を受けて、現況調査を行い、管理不全な状態である空家と判断した場合には、所有者等を調査し、助言、指導、勧告を行う。さらに、その空家が著しく危険であると判断した場合には、措置命令、公表、行政代執行を行う。 空き家無料相談会や空家バンク制度などの空家の有効活用施策を実施する。 空家活用補助金制度（改修、家財処分）を実施し、空家バンク制度による空家の活用を推進する。 空家を地域交流拠点に改修する助成制度を実施し、空家を活用した地域コミュニティの活性化を支援する。 つくば市空家等対策計画（第2期）の策定。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	5,984	6,827	24,743	17,046	8,677	
	決算額	(千円)	1,710	848	20,146	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,235	848	14,722	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	475	0	5,424	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	19,693	19,003	22,430	21,115	21,115	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.70	2.70	3.00	3.00	3.00
		正職員時間外勤務	(時間)	543.00	227.00	818.00	280.00	280.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、チラシ等による情報発信
企画・立案、計画	つくば市空家等対策協議会（第2期つくば市空家等対策計画策定）、第2期つくば市空家等対策計画（案）パブリックコメント手続
実行	
評価、検証	つくば市空家等対策協議会（第2期つくば市空家等対策計画策定）

指標の推移

1	指標名	管理不全な空家等の所有者等に対する行政指導件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	141.0	105.0	129.0	115.0	0.0	0.0
指標の概要	市民から情報提供（相談）があった管理不全な空家等について、所有者等を調査、特定し、管理不全な状態を改善するよう行政指導を行った件数						

2	指標名	空家バンク制度による売買又は賃貸借の成約件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	3.0	1.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	空家バンクに登録された空家等の売買又は賃貸借の契約が成立した件数 (個別施策 I-2-⑤空き家・空き店舗等の有効活用の推進)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	改善の見られない空家等について、所有者等を訪問し助言・指導等を行った。空家バンクについて、物件登録を増やすため、民間事業者の活用検討、空家改修補助金の要件緩和を検討し、要綱を改正した。空家等適正管理、空家バンクについて、区会回覧、市ホームページ等への掲載を行い周知を図った。
成果	管理不全な空家等への行政指導を実施し、地域の生活環境の悪化を防止した。 空家活用補助金（改修工事費補助金）で1件の交付を行い、空家等の有効活用の促進を図った。 空家無料相談会を3回開催し、所有者等の多岐にわたる相談に応じた。 つくば市空家等対策協議会を開催し、第2期つくば市空家等対策計画を策定した。
課題	助言・指導等を行っても改善されない空家等への対応。 空家バンク登録物件が少なく、利用希望者のニーズに応えられていない。
改善目標	行政指導等に従わない所有者等に対しては、継続的に指導するとともに、著しく管理不全な空家等については、特定空家等庁内調査委員会での審議を経て、必要な措置を講じていく。管理不全な空家等にさせないための意識啓発や空家無料相談会、空家バンクの登録推進、空家活用補助金により有効活用を推進する

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	第2期つくば市空家等対策計画を策定。本市の現状の分析や空家等実態調査による空家等の把握・所有者等の意向調査、また、空家等の課題に対する施策展開の状況の把握、検証を行い、空家等対策に関する目標や新たな施策等を策定した。目標達成のためそれらを実行していく。